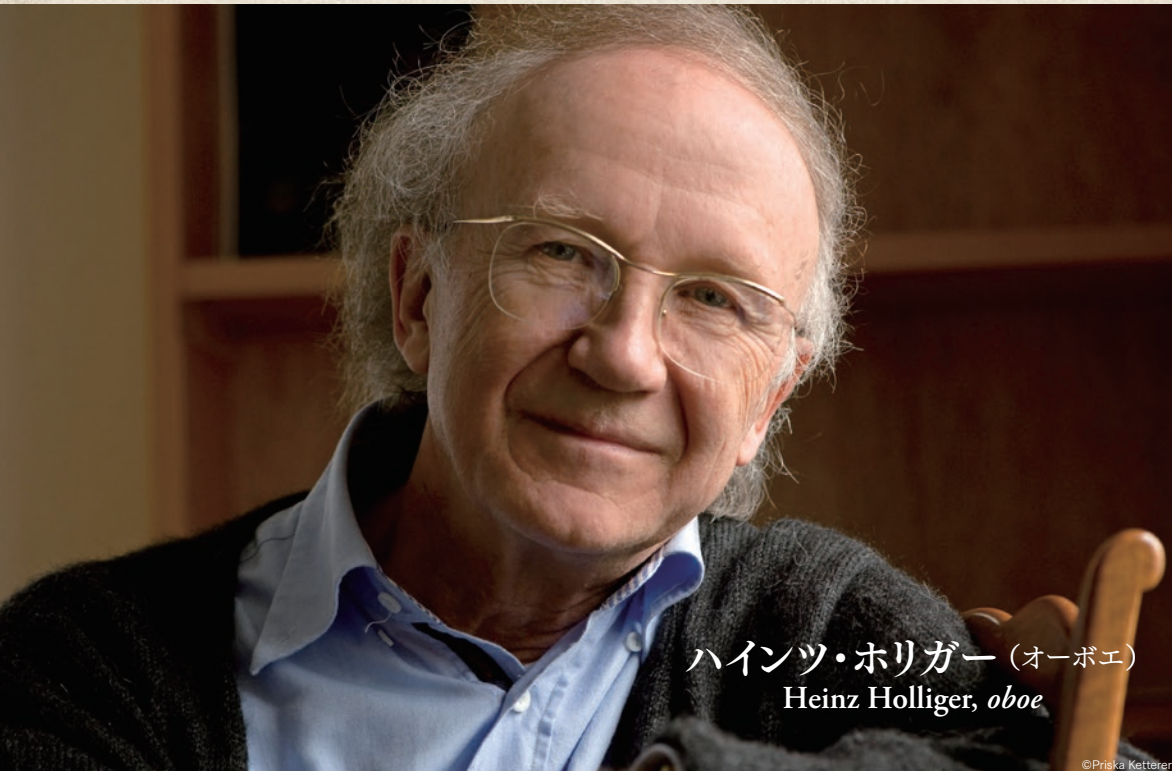


オーボエのレジェンドとして半世紀以上の長きにわたりトップの座を守る世紀の天才ホリガーが遂に紀尾井ホールに舞い降りる。彼を慕う仲間たちも集結し、共に交わされる音による会話の愉しみ。最高のメンバーで聴く管楽九重奏のふくよかで多彩な世界。

ハインツ・ホリガーと仲間たち

～管楽アンサンブルの魅力～

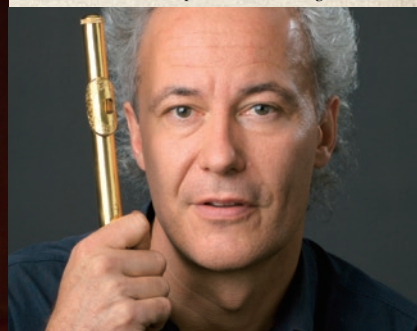
Heinz Holliger and Friends - Kaleidoscope of wind ensemble



ハインツ・ホリガー (オーボエ)
Heinz Holliger, oboe



マリ＝リーゼ・シュップバッハ (オーボエ、コーラングレ)
Marie-Lise Schüpbach, oboe & cor anglais



フェーリクス・レングリ (フルート)
Felix Renggli, flute



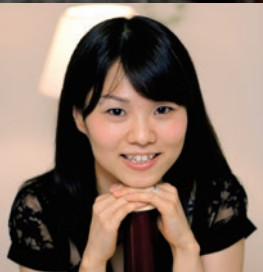
金子 平 (クラリネット)
Taira Kaneko, clarinet



山根孝司 (クラリネット)
Takashi Yamane, clarinet



ディエゴ・ケンナ (ファゴット)
Diego Chenna, bassoon



佐藤由起 (ファゴット)
Yuki Sato, bassoon



日橋辰朗 (ホルン)
Tatsuo Nippashi, horn



勝俣 泰 (ホルン)
Yasushi Katsumata, horn

2021年

10月1日 [金]

19時開演
(18時15分開場)

19:00 on 1st October 2021

紀尾井ホール

モーツァルト 管楽セレナード第12番 ハ短調 K.388

Mozart: Serenade in c minor K. 388 for wind instruments (2ob, 2cl, 2bs, 2hrn)

クルターグ 無伴奏フルート曲《イェレネテク(情景)》op.39

Kurtág: Jelenetek (Szzenen) for flute op. 39

レイハ(ライヒャ) アンダンテ・アリオソ、アンダンテとアダージョ

Reicha: Three pieces "pour le cor anglais" for English horn solo, flute, clarinet, horn and bassoon

ホリガー オーボエとコーラングレのための4つの二重奏

Holliger: 4 Duets for oboe and English horn

グノー 9つの管弦楽器のための小交響曲 変ロ長調

Gounod: Petite Symphonie in B flat major for wind instruments (fl, 2ob, 2cl, 2bs, 2hrn)

【全席指定】

S席 8,000円 ペアS席 15,000円 (2席)
A席 5,500円 U29 A席 2,000円

発売日

紀尾井友の会先行発売 9月予定
一般発売 9月予定

取扱い

紀尾井ホールウェブチケット <https://kioihall.jp/tickets>

※新型コロナウイルス感染拡大防止措置の観点から、発売日、販売範囲の変更が生じる可能性があります。最新情報はウェブサイトでご確認ください。

※料金は税込みです。本誌掲載の料金のほか、発券時に所定の手数料がかかります。手数料はお支払方法により異なります。
※U29は公演当日に29歳以下の方ならどなたでも利用できるチケットです。枚数には制限があります。詳しくは、紀尾井ホールウェブサイトへ。

※出演者・曲目・演奏順は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。
※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。
※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※「緊急事態宣言」等の不測の事態により記載内容変更や公演中止となる場合がございます。最新情報はウェブサイトでご確認ください。

【新型コロナウイルス感染拡大防止のためお願い】
チケットご購入条件として右記QRコードより内容をご確認ください。



主催：公益財団法人 日本製鉄文化財団
協賛：三菱商事株式会社
後援：在日スイス大使館

Schweizerische Eidgenossenschaft
Confédération suisse
Confederazione Svizzera
Confederaziun svizra

Embassy of Switzerland in Japan
スイス大使館

オーボエと言えばハイツ・ホリガー。この世紀の天才は、この楽器のまごうことなきトップ奏者として世界を牽引し、半世紀以上経った今でも世界の音楽家たちからレジェンドとしてリスペクトされ続けています。さらにホリガーが驚異的なのは、オーボエだけでなく作曲も指揮をもこなす総合音楽家である点です。そのマルチ音楽家ホリガーが遂に紀尾井ホールに登場します。今回は、近年頻繁に共演を重ねている欧州の仲間に、紀尾井ホール室内管楽団のメンバーを中心とする日本のトップ奏者たちを加え、自作の二重奏やミニアチュールのようなクラター作品から管楽アンサンブルの中でも最大に近い九重奏で書かれた美しくチャーミングなグノーの《小交響曲》まで、幅広い管楽合奏の世界を聴かせてくれます。豪華に揃った凄腕管楽器奏者たちによる華麗なテクニックとカラフルな音の色彩をご堪能ください。

ハイツ・ホリガー (オーボエ)

Heinz Holliger, *oboe*

オーボエ奏者、指揮者、作曲家として活躍する現代の最も多彩で非凡な音楽家の一。ジュネーヴやミュンヘンの国際コンクール(オーボエ部門)で優勝した後、すぐに5大陸の主要なコンサート・ホールで演奏し始めた無類の国際キャリアの持ち主である。作曲と演奏両方を追究することによって、彼は自分の楽器上での技術的な可能性を引き伸ばし、また、同時に現代音楽に深く傾倒している。現代を代表する作曲家達がホリガーのために作曲をしている。指揮者としては、ベルリン・フィル、クレーブラント管、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ウィーン・フィル、チューリッヒ・トーンhalle管、スイス・ロマンド管、ローザンヌ室内管、ケルン放送響など世界の主要なオーケストラや室内楽団と長きにわたって共演を重ねている。作曲家としても国際的評価を得ており、チューリヒ歌劇場で上演されたオペラ《白雪姫》(ロバート・ヴァルサー 台本)やオペラ《ルネア》(クラウス・ヘンドル 台本)は絶賛を博した。わが国には1990年代前半までは頻繁に来日していたが、その後しばらく途絶え、2010年より再開。その後は2012年、14、15、17、19年と定期的に来日し、多岐にわたりその才能を披露している。

マリー＝リーゼ・シュプバッハ

(オーボエ、コーラングレ)
Marie-Lise Schüpbach, *oboe & cor anglais*

チューリヒ生まれ。チューリヒ音楽院でマルセル・サイエとアンドレ・ラウルのもとでオーボエを学んだ後、フライブルク音楽大学に進み、ホリガーに師事。同大学を優秀な成績で卒業し、ケルン放送交響楽団に入団。1979年にソロ・コーラングレ奏者としてバイエルン放送交響楽団に入団。これまでにベルリン・フィル、ウィーン・フィルに客演したほか、ルツェルン祝祭管楽団のメンバーを務めた。2008年バイエルン放送響の楽員と共に室内楽フェスティバル「ErstKlassik am Sarnersee」を創設し、著名演奏家による秀逸なコンサートを提供している。

フェーリクス・レングリ

(フルート)
Felix Renggli, *flute*

スイスのバーゼルに生まれる。ヒルデンブラント、ニコレ、グラーフに師事。バーゼル音楽院卒業後、ソリスト、室内楽奏者としての多忙な演奏活動に加え、世界各地でマスタークラスを開催し後進の指導も行っている。レパートリーは「新しい音楽」(スイス・チェンバー・ソロイスト、アンサンブル・コントロール・シャンとの多数の世界初演)から、古典派室内楽、独奏曲、そしてビリオド楽器で演奏する古楽にまで及ぶ。1994年からバーゼル音楽院のフルートと室内楽の教授を務めており、2004～14年にはドイツのフライブルク音楽大学でも教鞭を執った。スイス初の全国的コンサートシリーズであり、2020年のスイス音楽賞を受賞した「スイス・チェンバー・コンサーツ」の3名の芸術監督の一人として、20年以上にわたり活躍している。www.felixrenggli.com

金子 平 (クラリネット)

Taira Kaneko, *clarinet*

東京芸術大学を経て、独り育つ国立音楽大学院卒業。クラリネットを半田裕一、山本正治、村井祐児、ザビネ・マイヤーの各氏に師事、日本音楽コンクール1位受賞。ミュンヘン国際音楽コンクール3位入賞。NHK FMリサイタル・ノヴァ・B→Cリサイタルシリーズ、木曾音楽祭に出演。現在、紀尾井ホール室内管楽団メンバー、読売日本交響楽団首席クラリネット奏者。

山根孝司 (クラリネット)

Takashi Yamane, *clarinet*

日本とベルギーでクラリネット、室内楽、作曲を学ぶ。ブリュッセルのアンサンブル・イクトウス、パリのアンサンブル・アルテルナンスのクラリネット奏者を務め、ヨーロッパの多くの現代音楽祭で演奏した。現在はNHK交響楽団のクラリネット奏者、昭和音楽大学の講師。また、オーケストラ・リベラ・クラシカなどでビリオド楽器の演奏にも携わる。

ディエゴ・ケンナ (ファゴット)

Diego Chenna, *bassoon*

トリノ音楽院でメゾジーニに、シュトゥットガルト音楽演劇大学でアツォーニに師事。在学中にアバドの招きによりルツェルン祝祭管楽団に参加。1998年、ジレ国際コンクールで第1位に輝き、ソリスト、室内楽奏者として活動を始める。ソリストとしてはヨーロッパ室内管などと共演。室内楽奏者としてもホリガー、コパチンスカヤ等と共演し高い評価を得る。現在フライブルク音楽大学教授。

佐藤由起 (ファゴット)

Yuki Sato, *bassoon*

桐朋学園大学音楽学部卒業、シドニー大学大学院修了。ファゴットを浅野高暎、武井俊樹、吉田将、マシュー・ウィルキーの各氏に師事。宮崎国際音楽祭、セイジ・オザワ松本フェスティバル等に出演。第21回日本管打楽器コンクール第2位入賞。現在NHK交響楽団ファゴット奏者、東京芸術大学室内楽、洗足学園大学、桐朋学園大学非常勤講師。

日橋辰朗 (ホルン)

Tatsuo Nippashi, *horn*

東京音楽大学卒業。後藤照久、井手詩朗、水野信行の各氏に師事。第26回日本管打楽器コンクール第1位、及び特別大賞を受賞。第80回日本音楽コンクール第1位及び聴衆賞を受賞。2007～11年小澤征爾音楽塾オーケストラメンバー。木曾音楽祭、東京・春・音楽祭に出演。日本フィル首席ホルン奏者を経て、現在、読売日響首席ホルン奏者および紀尾井ホール室内管楽団メンバー。国立音楽大学、東京音楽大学非常勤講師。

勝俣 泰 (ホルン)

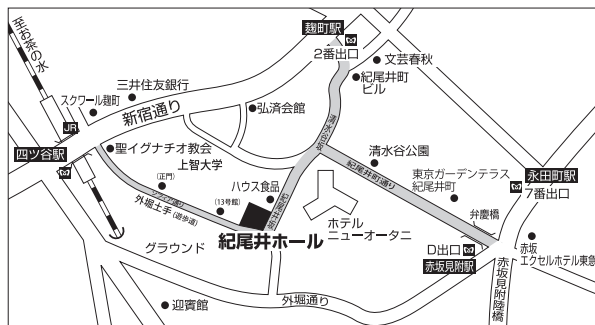
Yasushi Katsumata, *horn*

東京芸術大学大学院修了。有馬純晴、守山光三、千葉馨、松崎裕、水野信行、ヨアヒム・ペルトゥル各氏に師事。1998年より毎夏サイトウ・キネン・オーケストラに参加。99年新日本フィルに入団。2001年より文化庁派遣在外研修員として渡独。R.シューマン音楽大学にて最高位ディプロマを取得。帰国後、06年よりN響団員。ジャパン・ホルン・インテットメンバー。洗足学園音楽大学客員教授。東京音楽大学非常勤講師。

紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です

紀尾井サポートシステム会員 (五十音順・「株式会社」等表記及び敬称略) 2021年6月1日現在

- 《特別協賛会員》 A. ランゲ&ゾーネ/日鉄ソリューションズ/三菱商事/三菱地所
- 《みやび会員》 伊藤忠商事/大島造船所/KDDI/菅原/住友商事/丸紅/三井住友銀行/三井物産/三井不動産/三菱商事/三菱地所/メタルワン ほかに匿名2社
- 《ひびき会員》 オカムラ/きらぼし銀行/高砂熱学工業/竹中工務店/山下設計
- 《みどり会員》 青鬼運送/赤坂維新號/赤坂エクセルホテル東急/今治造船/ヴォートル/エーケーティ/NTTドコモ/荏原冷熱システム/鹿島建設/ザ・キャピトルホテル東急/三協/清水建設/上智大学/西武プロパティーズ/大成建設/千代田商事/テュイスト・ライフ/東芝ライテック/永田音響設計/ニュー・オータニ/ハウス食品グループ本社/パナソニック/富士フイルムビジネスソリューションジャパン/松尾楽器商会/三井住友信託銀行/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/ミュージック/明治座舞台/ヤマハサウンドシステム/有帆
- 《あおい会員》 青木陽介/飯沼万里子/石崎智代/磯部治生/井上善雄/植竹浩樹/大武和夫/小島 徹/片山能輔/久保祐子/栗山信子/佐久間庸行/佐部いく子/清水 正/清水多美子/清水康子/鈴木 亮/高下謙彦/田中 進/外山雄三/鳥居莊太/中塚 一雄/中西達郎/西村勉美/原田清明/北條哲也/堀川将史/牧本恵美子/松枝 力/松原 良/松本美恵/箕輪永世/宮本信幸/陸田 実/村上喜代次/持留宗一郎/八木一夫/八木晶子/山内寿美/吉楽裕毅 ほかに匿名23名 計197口



【最寄駅】 ●四ツ谷駅(JR線・丸の内線・南北線) 徒歩6分 ●越前町駅(有楽町線)2番出口徒歩8分 ●赤坂見附駅(銀座線・丸の内線)D出口徒歩8分 ●永田町駅(半蔵門線・有楽町線)7番出口徒歩8分



公益財団法人 日本製鉄文化財団
〒110-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号 ☎03-5276-4500(代) 紀尾井ホール ホームページ <https://kioihall.jp/>



森の声を呼び戻そう。

世界中に、100万本以上の
さまざまな種類の木を植えて、
自然そのままの森の姿を再生する。

三菱商事は、世界各地で熱帯林の再生に取り組んでいます。